

平成二十三年度

会

報

貞香会

貞香会会報

発刊によせて



理事長 荒木 大樹

温故知新

貞香会機関紙『書範』に毎月のように「貞香会たより」が掲載されますが、やや細切れの観があります。そこで事務局の方々にそれらをひとまとめにして、会報の形にして発行しただろうか、と言う提案がありました。「言うは易く実行は難し」ですが、ここにその努力の結晶が実を結びました。自分の作品を反省すると共に、「温故知新」の心で「ああいう作品が書いてみたい」の参考になれば幸いです。

その昔、貞香会には『祭墨』という機関紙がありました。その三号（昭和五十年十月発行）の巻頭に、素堂先生が「新美術館に進出す」と言う題で書かれています。要約して紹介しましょう。

「幸いにこの新美術館に、わが貞香会展も会場割り当てを

受けられることとなったのは、本会関係者のひとしく欣喜するところで、待望久しかっただけにこの吉報に接した瞬間は、全く雀躍とも言えるものであった。だが、この大いなる幸せは、ただ手放しで喜んではいられないのである。この全国美術家注視の中に与えられた日本第一の会場は、これに応えるだけの中身を盛らねばならない。それじゃあこうやっていられない……と私どもの様な老骨でさえ、何か血の躍るものを感じている。清新な努力作を以て、既往五十餘年の歴史ある会を背負って全会員の底力を展示しなければならぬ。希わくば渾身の力を揮って、大いに気を吐いて頂きたいものである。今から筆硯を洗って気魄横溢の力作準備にかかつて欲しいと切望するものである。」久し振りに先師の清冽な激励の言葉に接したようで、改めてあの当時の新鮮さ、挑戦さに心が震えました。

その都美術館は改装作業も完了しこの四月から再開、本会も貞香会総合書展を来年一月に開催します。また、国立新美術館の貞香書展は今年から会期が変わりましたが、貞香会の二大展覧会に向かって頑張りましょう。ご協力、ご出品よろしくお願ひします。

何事にも土台が大切です。今話題の東京スカイツリーは、地上六三メートルの高さに目を奪われますが、その下にある基礎は実に地下五〇メートルにも達しているそうです。基礎勉強にも努力をして頂きたいと思ひます。

— '11 貞香会総合書展 —

■ 平成23年2月18日～20日

■ 於 北千住・ミルディス一番館11F
シアター1010ギャラリー

19日の午前には教育部授賞式、午後一般部授賞式、貞香会総会、懇親会が館内のアトリエで開かれた。授賞式にはたくさんの出品者が出席し、盛り上がりを見せた。総会では役員改選があり、新理事が選出された（巻末に関連記事）。



授賞式に出席したお友だち



貞香会理事長
荒木大樹先生



貞香会会長
赤平泰処先生



新理事の皆さん



一般部授賞式



懇親会にて受賞者を囲んで



教育部授賞式

11 貞香会総合書展 第二部 書範展

出品者ならびに受賞者名

【委嘱部】	鬼海 静花	田中 輝子	秋元 静苑	小林くに子	杉山 利子	小野三子	森田 剛史	大石 奈々	小島 美憂	川本 泰雅	齊木 夢海
高梨 峻玲	小林 節子	加藤 尚子	成田美和子	片岡 貞子	米井 哲朗	大木 友美	林 寧々	大木 和也	松浦 芽生	平川 夏帆	藤田 翔吾
市川 賀雪	中澤 知泉	秀作	戸田 順子	稲見 尹弘	田窪 青蘭	根本 泰子	山崎望々春	伊藤 光優	山内 開	小池 舞奈	神保 里紗
松井 繁	準特選		藤井 真晴	高塚 孝吉	西山 香翠	香取 芳江	特別賞	渡辺 悠斗	片野有里愛	齋藤 将輝	五十嵐太朗
野村 翠苑	諸貫 容子		高田 明美	駒場 久遠	浅沼 香泉	羽賀 汀蘭		佐藤 花奈	川本 美海	齋藤 秀治	山田 恭史
【一般部】	若井 郁子		市原 明美	徳田 雄	鳥海 清子	大芦 義男		佐藤 大樹	熊谷 環	矢口 海音	明石菜々子
貞香会奨励賞	本多登美雄		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	上野 美咲		三戸 彩愛	熊谷 環	久米田 萌	多田良乃海
佐藤 龍生	鈴木 良裕		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	岸端 秀治
早乙女和子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
稲葉 敏枝	秀樹		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
川端 正廣	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
高木 快道	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
高森 柯泉	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
専心社賞	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
大田 信子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
上坂 若枝	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
特選	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
黒川 和代	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
今泉伊代子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
塩野 洋子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
八角 涛佳	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
安田 大智	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
藤崎 竹情	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
古賀 一善	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
加藤富美江	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
入選	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
高田 紀子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
伊藤 栄	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
佐藤 由紀	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
吉田 勇	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
浦野 和子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
八幡 憲典	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
前川 陽子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
藤原 優子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
世継 仁美	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
上田 友美	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
浜田 碧空	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
大木 幽翠	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
菅谷 虹泉	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
遠藤 清泉	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
伊能 江樹	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
奥村 珠翠	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
荒井 谿水	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
柳原佐知子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
船田 圭子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
山井 御代	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
【教育部】	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
眞香会奨励賞	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
池田 翠雨	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
及川 佩玉	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
長尾 貫清	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
郷間 泉秀	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
中川 秀雲	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
鈴木 彩香	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
渡辺 嘉宏	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
根津 宏子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
富田 翠苑	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
豊田 泰猛	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
湯川佳津代	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
杉山久美子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
渡辺 有美	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
石橋 溪柳	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
日吉 涼風	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
石上 桜花	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
井出 淳子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
雑賀 誠芳	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
大崎 きよ	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
赤橋 雅静	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
佐藤 功子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
久保木喜峰	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
山中あつみ	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
林 俊子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
鈴木 彩香	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
渡辺 嘉宏	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
根津 宏子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
富田 翠苑	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
豊田 泰猛	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
湯川佳津代	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
杉山久美子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
渡辺 有美	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
石橋 溪柳	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
日吉 涼風	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
石上 桜花	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
井出 淳子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
雑賀 誠芳	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
大崎 きよ	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
赤橋 雅静	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
佐藤 功子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
久保木喜峰	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
山中あつみ	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
林 俊子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
鈴木 彩香	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
渡辺 嘉宏	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
根津 宏子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
富田 翠苑	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
豊田 泰猛	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
湯川佳津代	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
杉山久美子	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
渡辺 有美	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
石橋 溪柳	英男		徳田 明美	吉澤 光	唐木 智子	高橋 郁哉		三戸 彩愛	熊谷 環	矢口 海音	多田良乃海
日吉 涼											

平成二十三年度貞香会総会報告

平成二十三年度定期総会は、二月十九日(土)午後二時から、千住ミルデイス1番館十階アトリエにおいて開催されました。

総会には顧問の中村素岳先生・名誉同人の林田翠龍先生のご臨席のもと、昨年を若干上回る四十名の会員の出席をもって開催となりました。

総会は、加茂泰玄副理事長の司会と開会のことばで進められ、続いて立った赤平泰処会長は出席者に謝辞を表した後、挨拶の中で中村素堂先生が提唱された教えを理解し邁進努力することにより、書の美を追求する貞香会の書が更に発展して飛躍の年になることを期待しております。また本日の議案については、丁寧に、細部まで検討いただき、速やかな進行を希望いたしますとの旨を述べられました。

次に委任状の確認を司会の加茂先生より会員数二一八名の内、総会出席者四十名、委任状提出者一〇七名、合計一四七名になり、総会が成立しますと報告がありました。議長には大野宜白副理事長が選任され議事に入りました。

平成二十二年事業報告が中村青監事務局長より、平成二十二年会計報告が二木秀蔭理事から、監査報告が中村東泉監事からあり一括承認されました。

続いて平成二十三・二十四年度役員改選にうつり、5名の選考委員が選出されて、その改選案が理事長より示され、全員の拍手で承認されました。新役員を代表して、荒木大樹理事長より就任の挨拶がありました。

次に平成二十三年度事業計画並びに同予算書(案)が中村青監事務局長、二木秀蔭理事より提案され一括満場の拍手で承認されました。その他の議事特になく、大野議長が拍手の中、議事が終了したことを宣しました。

最後に松本宜響副理事長の閉会の言葉で総会が無事終了いたしました。(中村青監 記)

総会出席者名

中村素岳	林田翠龍	赤平泰処	荒木大樹
大野宜白	加茂泰玄	松本宜響	今井泰篁
岩田映洞	金子正信	笹山汀華	佐藤光華
杉戸泰岳	高橋珠翠	坪内雪山	中村青藍
中村大如	中村東泉	中谷春径	根本泰郎
平林大舒	藤田彩緒	二木秀蔭	光田秀穂
山根紅樹	若井香樹	飯野彩心	石原翠山
海野蒼秀	長尾泰邨	半田桃香	池田詠香
上野泰僊	小澤茜逕	佐野珠雪	下川翠雨
平澤隆嗣	鈴木心茜	亀和田郁芳	
中野美由紀	以上四十名		

平成二十三・二十四年度役員名

〔顧問〕	中村素岳	長谷川耕心
〔参与〕	後藤鶴台	晝間欽堂
	室生大韻	八木舜堂
	中谷春径	(新任)
	若井香樹	(新任)
〔名誉同人〕	佐藤中処	林田翠龍
〔会長〕	赤平泰処	
〔理事長〕	荒木大樹	
〔副理事長〕	大野宜白	松本宜響
〔理事〕	奥山泰嶺	(新任)
	柏木南城	金子正信
	加茂泰玄	後上菁華 (新任)
	杉戸泰岳	中村青藍
	平林大舒	二木秀蔭
	山根紅樹	
	高橋珠翠	(新任)
〔監事〕	中村東泉	

平成24年の各展覧会の会期のお知らせ

貞香会理事長 荒木大樹

貞香会会員並びに書範会員の皆さまが作品の発表の場に活動していただきます東京都美術館は現在リニューアル中ですが、平成24年4月から新装オープンします。また国立新美術館は平成24年度から会期の組み換えが行われ、左記の通り各展の会期が決定しましたのでお知らせいたします。

高、平成24年から関係する各展の会期が前半に集中してまいります。会期に合わせ早め早めの準備をお願いいたします。

貞香会も従来3月下旬に合宿・錬成会を開催してきましたが、時期を早めた開催を検討しております。役員一同、積極的に皆さまのお役に立ち、また楽しく書と向き合えますよう努力申し上げますと共に、今後とも会員の方々のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

'12 貞香会総合書展 第一部 貞香会会員展

会期 平成24年1月7日(土)〜9日(月)

会場 北千住千住ミルデイス11Fシアター1010ギャラリー
書範展の出品規定につきましては8月号にて配布の予定です。(書範展作品締切りは11月中旬予定)

'13 貞香会総合書展の会期は平成25年1月18日(金)〜24日(木)の間、東京都美術館で開催を予定しています。

第55回 東方書展

会期 平成24年4月1日(日)〜6日(金)

会場 東京都美術館 2階

第47回 貞香書展

会期 平成24年6月27日(水)〜7月9日(月)

会場 六本木・国立新美術館3階3A

第64回 毎日書道展 《東京展》

会期 平成24年7月11日(水)〜8月5日(日)

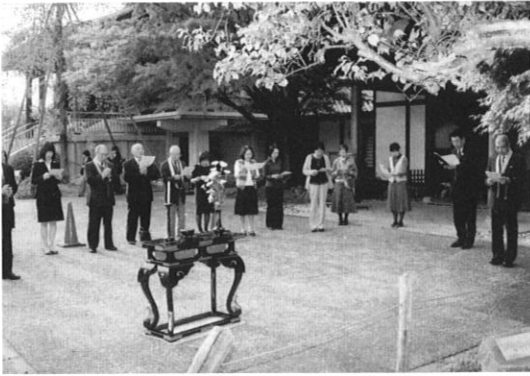
会場 六本木・国立新美術館

会場 東京都美術館・会期7月15日(日)〜23日(月)

第16回洗碑会

平成23年5月2日
於 小石川・伝通院

うす曇りの中、恒例の洗碑会が開かれた。伝通院の正面には新たに山門が建設中で困いはあるものの、ほとんど完工真近で白く美しい姿を見せている。東日本大震災では、灯籠や墓石がくずれるなどの被害があり、片づけられてはいるが、この時期はまだ復旧にはいたっていない。



全員で菩薩願行文、般若心経を…

会には20名程の中村素堂先生ゆかりの方やお弟子さんが参集し、午後4時半に開始された。理事長の荒木先生をはじめ代表の方々によって、プレートが拭い清められ、全員で菩薩願行文、般若心経の唱和、そして記念撮影で締めくくり午後5時散会となった。碑のまわりの桜、梅、紅葉などの植木は新緑でとても美しいのだが、桜の枝が碑の上から、かぶさるように伸び、見難くなってきた。何とかならぬものだろうか。(正)



プレートを清める荒木理事長



そろって記念撮影

第54回 東方書展審査所感

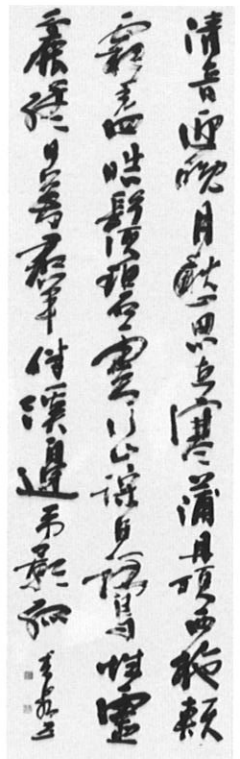
赤平泰 処

東日本大震災の影響で延期になり、五月二十六日～二十九日の開催となった。この時期だからこそ是非実行しなければという役員の先生方の強い意志が結実して、池袋サンシャインシティー文化会館で行われた。作品は全て四F一フロアーに収まり明るい会場で、都美術館とは違った空間での展示となった。東方参加団体の多彩な一面が直に伝わってくるような雰囲気新鮮なものがあった。その中で貞香の書を見つめ直す良い機会となった。一作ごとの反省が作家個人の将来を確たるものにしてくれると思うが、いまやらねばという若い人の中に、何を基盤にして学んでいるのか解らない。古典への追求を疎かにした安易な作が目立つたのにはがっかりした。東方での書の魅力を自ら希求していくような、情熱を持った若い書人の活躍に期待したい。

出品点数一三五六点、公募七〇九点、他は準同人、同人、功労者、名誉同人で、年々かな部が多くなり、漢字、少字数は減少傾向にある。役員だけが増えていくようだ。貞香会もよく考えて対処しなければと思った。

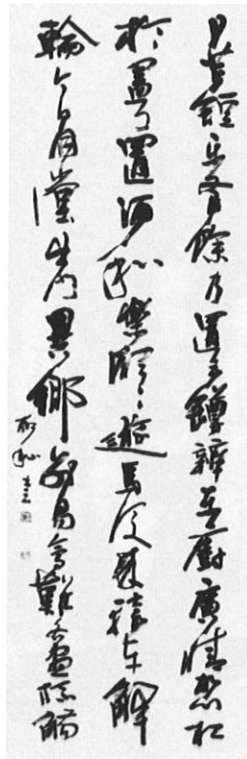
審査は各部門ごとに、鑑別、入賞作品の選考、投票での受賞決定が行われた。行草作品の三行、四行ものが大半で、その中で安定した構成員、縦へのスムーズな流れ、リズム、躍動感のある作が上位に入っていく。いつも言うことだが、安心して見られる作品をつくることに尽きる。そのためには理屈はいらない。書くことのみ。どれだけ自分の作品にのめり込めるかが問われているような気がしてならない。今回は新装なった都美術館、五十五回展です。ご出品よろしくお願います。

特別賞 同人推挙 加地 香泉

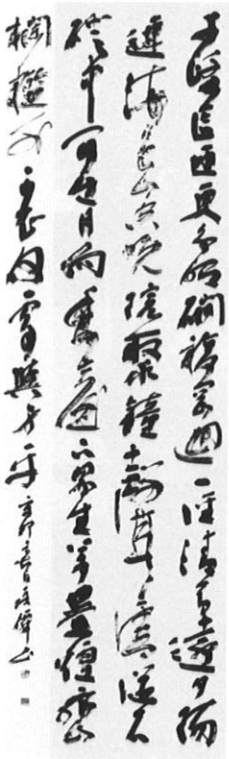


今回の作品は釈文のイメージそのままに、凜とした気品の有るものにしたいたいと思いつながら書いたのですが、ガサついた単に力強いだけのものになってしまい、まさか賞をいただけるとは思いませんでした。その為、留守の間に届けられた祝電に一日中気付かず、夜電話をいただいた時は本当に驚きました。まだまだ未熟な書、責任ばかりが重くなるように思います。これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

同人推挙 飯野 柳 和



推薦 上野 泰 僊





「悩まなければ良いものは生まれない」という師の言葉から今回の作品づくりはスタートしました。どうすれば詩の持つ美しさや自分の想いを表現できるのか、自分なりに悩み、考えた作品だったと思います。そして今回、推薦という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思っております。これも偏に師赤平泰処先生をはじめ、諸先生、諸先輩方のお陰と心より感謝申し上げます。今後とも、ご指導よろしくお願い致します。

第54回 東方書展 入賞・入選者

◆特別賞・同人推挙	加地 香泉
◆同人推挙	飯野 柳和
◆推薦	上野 泰徳
◆特選	岩崎 宏美 佐野 珠雪
◆褒状	笠島 晋処 中田 翠苑
◆入選	山崎 香彩 池田 詠香 岩田 映洞 大島 京子 小野 優 小林 柳瑛 立花 香琳 富田 青軒 永野 紫水 松村 窓紅 山口和希子
	倉石 芳園 菱沼 星徑 下川 翠雨 平澤 隆嗣 今 翠明 江原 覺堂 大塚 秀哉 久保田清壺 高橋久美子 橘 祥雄 中野 沙紀 中野美由貴 松本 悠里

第63回 毎日書道展 入賞・入選者

◆毎日賞	川嶋 芳岳	秋田谷岱空	川島 栖園	名倉 蓮音	半田 桃香
◆秀作賞	五野 雪香	海野 蒼秀	大屋 泰穹	佐藤 光華	
◆佳作賞	杉戸 泰岳	山根 紅樹	真下 良祐	(かな部)	
◆U23奨励賞	菱沼 星徑	平澤 隆嗣			
◆漢字部I類・会友	笹山 汀華 外川 静古 沖 素宮 高木 素近 室井 汀翠 笠島 晋処 本橋 太隆 中濱 瑞花	濱瀬 碧水 印田 素鶴 加藤 素窓 武部 素深 石原 翠山 鈴木 玲香 川北 澄月 林 澄翠	二木 秀隆 飯野 柳和 後上 菁華 中村 野光 日野 芳苑 小澤 光苑 日向 香苑 今井 香苑 永井 静軒	三浦 看山 上原 東琴 酒井 芳華 日向 芳苑 小澤 光苑 今井 香苑 永井 静軒	
◆漢字部I類・入選	岩田 映洞 家永 修 篠原 翠峰 松下 彩虹 渡辺 著秀 倉石 芳園 鈴木 芳草 外山 翠光 松村 窓紅 池田 詠香 大島 京子 加地 香泉 佐野 珠雪 中田 翠苑 矢口 昌華 清水 天悠	大石 碧堂 杉山久美子 渡辺 有美 松井 繁 小林 柳瑛 高橋久美子 樋口 泰仙 宮本 汀扇 市川 賀雪 川田 信子 大田 隆世 立花 幸仁 中野美由貴 安田 大智 橋本 竹泉	恩田 澄光 鈴木 心茜 渡辺 萌苑 岩崎 宏美 坂井 哲録 武内 陽華 深井 汀苑 山崎 香彩 上野 泰徳 大橋 泰昂 北原 隆世 玉熊 敬子 林 泰堂 横張 正子 和田 芳華	角田 清蓮 彦田 翠香 富田 青軒 大塚 澄心 下川 清雨 塚山 藍水 福井 昌和 天方 覺堂 鬼藤 静石 佐藤 泰花 津田 雅代 平野 明真 海老原 綱彌 松本 史衣	
◆漢字部II類・入選	秋田谷岱空	水沼 美明			
◆近代詩文書部・入選	五野 雪香	光田 秀徳			
◆U23I類・入選	石川 一光 梅津 成美 中島 沙紀 三田 恵里	福田 祥英 大塚 秀哉 福田 聡美	今古賀文彦 小野 優 山口和希子	宇田川いずみ 橘 祥雄 松本 悠里	

第63回毎日書道展審査所感

中村素岳

毎日展の作品づくりに入った三月十一日、東日本大震災が発生、津波、原発事故、頻発する余震で、貞香会会員にも被害が及び、毎日展対応の錬成会も開催出来ない状況で、第六三回毎日展作品が搬入された。公募出品は三一、〇〇六点とこの情勢下では凄い点数である。東北出身の審査員の話では、家、家族を失い製作出来ない作家もいるが、補って書き励んだ人達がマイナスにさせなかったと。大変な熱意を感じた。

漢字部が一二、八七一点、毎日展公募の四一・五％。参加団体の多さ、作品の多様化からみても花形です。貞香会からの出品は二二八点(二類一四六六点、二類六六六点、近詩部六六六点)。五月の鑑別はマクリで一類、二類ともに二五名づつの審査員の判定により五〇％の入選が決定。入落の分岐は一類十三ポイント、二類十二ポイントの獲得であった。貞香会の入選率は四七％であと一歩及ばなかった。六月審査では表装の入選作と会友作品で賞の決定がされた。

審査員の一作品評価の時間は三・四秒、佳作には熱が入り、愚作にはよい点を探すが冷める。中村素堂先生が口にされていた「対外展は作品競技の場」感が一作毎に感じる。貞香会の作は、各社中毎の線質の強さ、安定感、字型の構成、濃墨の力強さ等、力量は全く劣るものではない。しかし、白と黒の調和からくる全体構成、即ち作品らしさの追求の強い作品が高得点を得ていた。漢字一類、行草作品は行間であるタテ、隷書作品は字間であるヨコの空間を如何様にするか宿題を与えられた。次の一作に強い意識、意欲をもって一諸に創作に励んでいきましょう。

本年度審査員 中村素岳先生



毎日賞 川嶋芳岳



このたびは毎日賞という身に余る大きな賞を頂き、日頃からご指導いただいている中村素岳先生はじめ墨光書道院、貞香会の諸先生方に深くお礼申し上げます。今年には東日本大震災という未曾有の災害の中での展覧会であった事の重さを心に深く刻み一層の精進に励みたいと思います。また書と現代文明の融合を目指して在学している立教大学大学院文学研究科での思想研究とともに努力してまいりたいと思います。

秀作賞 秋田谷岱空

半平先生の筆名は、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を



この度は、このような素晴らしい賞をいただくことができ、本当にありがとうございます。これも、赤平泰処先生をはじめとする諸先生諸先輩方のご指導ご鞭撻と書友、後輩の皆さんの存在あってのものとして深く感謝しております。この朗報に、安堵感と身の引き締まる思いとが混在したような心境になりました。今後は、この受賞を謙虚に受けとめながらも、現状に満足することなく、更に精進していきたいと思っております。

秀作賞 川島 栖園

筆名は、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を



受賞のお知らせをいただいた時は、驚きと感激の一日でした。これも一重に熱心にご指導いただいている赤平先生、諸先生方、会の皆様のお陰と感謝しております。これからもなお一層の努力をして参りたいとおもいますので、よろしくご指導下さる様お願い申し上げます。私にとって最高のご褒美をいただきました。ありがとうございます。

秀作賞 名倉蓮音

筆名は、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を



この度は思いがけず秀作賞をいただき、驚きと同時に、大変嬉しく思います。日頃より御指導くださいます赤平先生をはじめ、貞香会の諸先生、諸先輩方に深く御礼申し上げます。日頃の練習不足のため、未熟な作品であったと痛感しております。今回の受賞を機に改めて日々の稽古を大事にし、真面目に練習に励んでまいりたいと思っております。今後とも御指導よろしくお願い申し上げます。

秀作賞 半田 桃香

筆名は、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を
継いで、筆名を継いで、筆名を継いで、筆名を



一点一画、線の強弱、墨の濃淡、全体のバランス等一作品を仕上げるまでに多くを迷い悩みます。今回の作は、仕上げる段階にアドバイスを頂き、迷いが消え、一気に書きあげることができました。貞香会の諸先生方、先輩、そして書仲間の皆様、家族の協力等周りに支えられての受賞です。師が亡くなり、七回忌の年に、受賞できましたこと、大変嬉しく心より感謝申し上げます。これを励みに今後も精進して参ります。有難うございました。

第46回 貞香書展 開催

8月3日～15日

於 東京国立新美術館



審査会場
するどい眼差で作品に見入る審査員



受賞者に賞状を授与



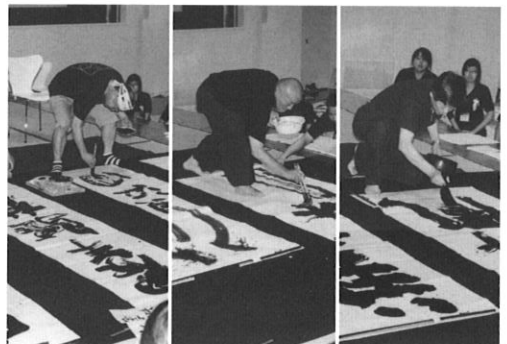
島谷先生による講演会の模様



荒木大樹先生による作品解説



懇親会にて
松本先生の挨拶に会場内爆笑



席上揮毫の先生方
右から赤平先生、松本先生、中村先生

第四十六回 貞香書展 審査報告

晝間 欽堂

今年は何年かぶりで一般部と推薦、特別賞の審査を担当することになりました。一般部の審査は例年のごとく鑑別から始まりましたが、この鑑別は結構難関で通過は62%でした。また鑑別を通ったもので入賞したものは特選7名で14%、準特選は12名で24%でした。いずれにしる鑑別を通過してさらに賞に到達することはそう簡単ではないといえます。

推薦、特別賞についても鑑別そして投票で決まりましたが、従来かな作品に対してあまり評価がされなかったのですが、昨年来評価が高くなったように感じられます。

全体を通していえば一般、推薦、特別賞ともそれぞれ作品内容に差があり狭い道を通じた苦労が見られます。授賞式の席でも申し上げたことですが、書作品の幅を広げ、厚みを加えるために他の作品を見るということはいくつに及ばず絵画も彫刻も写真も陶磁器も積極的に見ていくということが書作の感を養うことに大いに役立つと思います。書作の感つまりセンスを養うということが大事なことです。あまり上位にのぼることのみを考えることなく、書の内容を充実させ力を蓄えてからゆつくり上にお進み下さい。

今年3月11日の東日本大震災の影響もあり出品点数が全体で62点の減という結果になりました。私達の周囲にもこの大震災のため直接間接に被害を受けた方がおられると思います。私たちが書を書くことが出来る幸せと、書に対してより真剣な取り組みが必要であると強く感じました。

特別賞 同人推挙 浜瀬碧水

明月雙時有把酒問青天不知
上宮闕下是何年欲乘風歸

未又恐瓊樓玉宇高處不勝寒
起舞弄清影何似在人間



この度は、私のようなものに特別賞を頂き、誠にありがとうございます。荒木先生の三十数年にわたるご指導と諸先生方のおかげと深く感謝しております。これを機にまた新たな気持ちで書に取り組んで行こうと存じます。よろしくお祈り申し上げます。

特別賞 同人推挙 大塚澄心

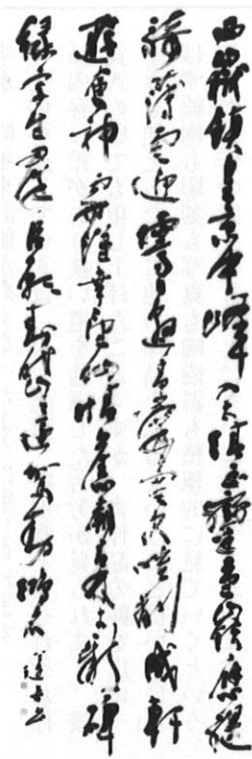
二月湯如... (Calligraphy of the award recipient, large and expressive characters, partially illegible due to style)

この度はこの様な名譽ある賞を頂きありがとうございます。思い出もかけないことでしたの



で大変驚き嬉しく思います。初参加の頃まだ、五体字類も満足に使いこなせなかつた私は自分の不勉強を思い知らされる事ばかりでした。こうして受賞できたのもご指導頂きました中村先生、優しく質問に答えて下さった先輩方のお蔭と感謝しております。これからも受賞を励みに精進いたしますので、御指導、ご鞭撻よろしく願います。

推薦 名倉蓮音



毎日書道展に続き、今回も素晴らしい賞をいただき大変光栄です。この受賞に甘んじることなく今後は計画的な作品制作を課題とし、一つの作品に時間をかけて臨むよう努めてまいります。御指導よろしくお願い申し上げます。

推薦 宮本汀扇



「字は線と点で成っている。それをどう紙の上

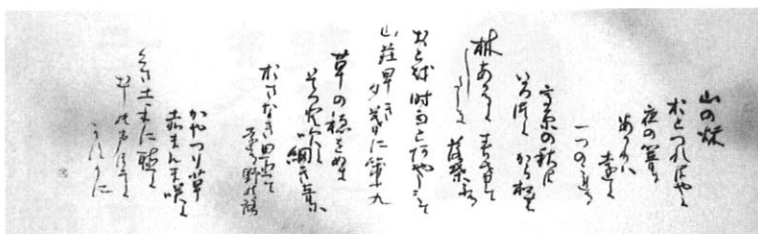


に表現するか。そこに作品が生まれる」と先生は言われました。たかが線。されど点です。それに苦勞し悩みましたが、私には自分に素直に懸命に書くだけと思ひ書きました。そして今回の思いもかけない推薦の賞を頂き、驚きと共にたいへん嬉しく思います。これも偏に中村素岳先生を始め諸先輩方の御指導のお蔭と心より感謝申し上げます。これからも一層の精進をと思つていきます。

推薦 佐伯麗子



この度は、「推薦」の受賞に驚きと共に感激しております。これも日頃より、懇切・丁寧な御指導を頂いております若井香樹先生のお蔭と、心より感謝しております。素敵な書道仲間の皆様にも恵まれて、楽しく続けることが出来ております。今回の受賞を励みにして、これからも「継続は力なり」を motto に、精進して参りたいと思つております。有難うございました。



推薦 折井 春雅



貞香書展にて思い掛けず推薦の賞を頂き、ただ／＼驚いて居ります。これも日頃熱心にご指導頂いて居ります、中谷春径先生のご指導の賜物と、そして、お仲間の励ましに感謝申し上げます。この度の俳句に込められた気持ちに筆に乗せて紙に表現するかどうかということがいかに難しいか苦勞致しました。これを機会に更なる精進を重ねて参りたいと思致します。

第四十六回 貞香書展入賞者

特別賞・同人推挙

濱瀬 碧水 大塚 澄心

推薦

名倉 蓮音 佐伯 麗子 宮本 汀扇 折井 春雅

公募第一部

安田 大智 大恵田昌子 稲田 祥英 天方 昌和 平野 明真 宇田川いずみ

特選

大石 碧堂 齊藤 純子 高島 雪華 関口 恵子 草間 朋哉 恩田 澄光

準特選

廣田 教子 藤松 美香 松本 悠里 早乙女和子 藤井 泉桜 松村 窓紅

秀作

山崎 晴抄 塚山 清峰 福田 聡美 大塚 秀哉 小野 優 山崎 昭文

秀作

石川 一光 石津 優華 佐藤 龍生 長尾 貫清 中村 吟有 今 翠明

秀作

橋本 竹泉 横張 正子 大島 京子 小堀 竹栖 市川 賀雪 今 沙紀

秀作

関根 照雲 津田 雅代 北井 康子 池田 紀子 常陸 民生 角田 清蓮

秀作

山井 御代 小林 素璋 根本 柏暢 岸 伯子 工藤富美子 伊澤 禮子

特選

伊藤 朱楊 小林 素璋 根本 柏暢 岸 伯子 工藤富美子 伊澤 禮子

準特選

榎木 良裕 堀越 紅蓼 稲葉 敏枝 山本 成子 小木曾 礼 伊澤 禮子

準特選

栗林 澄香 太田 有香 柳原佐知子 藤原 優子 大山 真未 山中あつみ

準特選

田辺 由美 黒川 和代 塩味 靖恵 藤原 優子 大山 真未 山中あつみ

秀作

豊田 瑞空 黒駒 重信 平田 成美 新倉奈津子 川端 正廣 佐藤 由紀

秀作

及川 佩玉 池田 翠雨 松浦 芳春 福元 東樹 杉山 貞馨 小池伊都子

秀作

香取 芳江 大崎 きよ 押尾 朝楊 伊藤 香風 中川 秀雲 今泉白水人

秀作

日吉 涼風 井出 惇子 鈴木 葉香 山口美津子 長畑 美成 湯川佳津代

秀作

雜賀 誠芳 富田 翠苑 秋元 静苑 大木 秀佳 山田 真晴 沼澤 幸子

秀作

八幡 憲典 富田 翠苑 秋元 静苑 大木 秀佳 山田 真晴 沼澤 幸子

貞香会だより

九月十二日、貞香会事務所において理事会が開催され左記の通り審議されました。

一、平成二十四年度の事業計画が決定

(一) '12貞香会総合書展 第一部 貞香会会員展・第二部 書範展

◇会期：平成二十四年一月七日(土)～九日(月)

◇会場：北千住・千住ミルデイス十一階シアター1010ギャラリ

◇書範展審査員 (◎は審査長)

一般部審査員

赤平泰処

今井泰篁

◎高橋珠翠

真下良祐

教育部審査員

岩田映洞

津田貞巖

◇日程：一月八日(日)

十三時より教育部授賞式
十五時より一般部授賞式
一七時より懇親会

加地香泉 西郷梅白 鈴木蓮径

根本泰邸 中村東泉 (以上七名)

※出品規定、日程詳細につきましては九月二十六日(月)に発送済み。

◇規定による昇格者が決定いたしました。

*新同人

*新準同人

*新鑑別会員

名倉蓮音 佐伯麗子 宮本汀扇 折井春雅

安田大智 大恵田昌子 稲田祥英 斎藤純子

関口恵子 高橋久美子 中村吟有

尚、'12貞香会総合書展出品者の中から規定二点の加点により、鑑別会員に推挙される方を含めて平成二十四年度の貞香会役員一覧が確定いたします。

◇'13貞香会総合書展の会期は平成二十五年一月十八日～二十四日の間、リニューアル後の東京都美術館で開催を予定しています。新たな企画を理事会で検討していますので、要望その他ご意見がありましたら貞香会事務所までお問い合わせください。

(二) 第五十五回 東方書展

◇会期：平成二十四年四月一日(日)～六日(金)

◇会場：東京都美術館 二階

◇日程(案)：四月五日(木) 十三時より授賞式
一六時より懇親会

※開催要項につきましては平成二十三年十月中旬に発送。

(三) 第四十七回 貞香書展

◇会期：平成二十四年六月二十七日(木)～七月九日(月)

◇会場：六本木・国立新美術館三階3A

◇日程並びに行事内容については追ってお知らせいたします。

(四) 第六十四回 毎日書道展《東京展》

◇会期：平成二十四年七月十一日(水)～八月五日(日)

◇会場：六本木・国立新美術館

◇会場：東京都美術館(七月十五日(日)～二十三日(月))

◇日程・行事内容については毎日書道会での決定後お知らせいたします。

二、東日本大震災の被害に遭われた方への見舞金について

第四十六回貞香書展出品者の中で東日本大震災の被害に遭われた方の被害届を元に、理事会で見舞金が決定いたしました。被害届の件数は二十一件、被害状況により年会費並びに出品料の免除の総額 一三七、五〇〇円を見舞金としてお支払いいたします。(支払時期と支払方法については追ってお知らせいたします)

三、その他

平成二十四年度総会について日時と会場が決定いたしました。

◇日時：平成二十四年二月十三日(月) 十六時

◇会場：貞香会事務所 Tマップ三階

第33回 東天会書展

3月30日～4月4日
於 田中八重洲画廊

真香会参与の室生大韻先生主宰の社中展。地元の八日市場から初めて東京に会場を移しての開催となった。出品は10名、23点。

山下朋童子言師
珠藥谷只在此山中
雨深不知處

室生大韻

夕嘯心道と尺銘
世道何れも収斂
困倦相時難言
法外難言何異地
金吸道巖爰之鳥
稀言人言其言
竹管巖底公和蘭
水吹石上道解心
道言解道道解心
口一竹管巖底公
備不夫相ト竹管
鳥是此竹ノ半竹士
中村東泉

中村東泉

真下良祐

真下良祐

庚申八月丙申十月乙丑王命周占子明禱
月三庚三子受命萬會...
巧周占同占...
月吉...
三庚...
周...
成...
牲...
王...
余...
眾...
義...
法...
庚申年三月...

石坂大瑛

十果...
必...
廣安法...

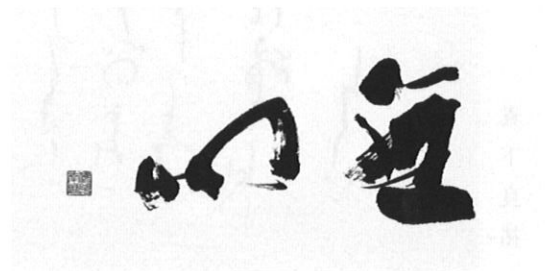
小峰紀州

獨吐...
公...
法...

伊藤惠澤



赤平泰処



柏木南城



高橋珠翠

第25回西蓮会書展

10月14日～18日
於 銀座かねまつホール

貞香会会長の赤平泰処先生が主宰する西蓮会の社中展。『今でこそ……夢に向かって』をテーマに、赤平先生はじめ本誌支部長先生など76点の出品。毎回のことだが、それぞれが作品にコメントを付け、考えながら作品作りをしている姿勢が目にもみえて好感。



加茂泰玄



今井泰篁

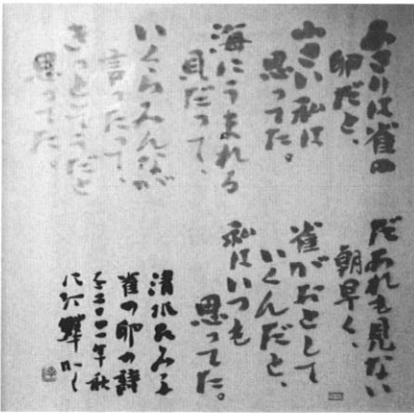


長尾泰郵



根本泰邸

中村汀華



中村素岳



第42回 墨光書道展 10月19日～23日 於 春日部市民文化会館

貞香会顧問の中村素岳先生主宰の社中展。
出品は一般部112点、教育部65点

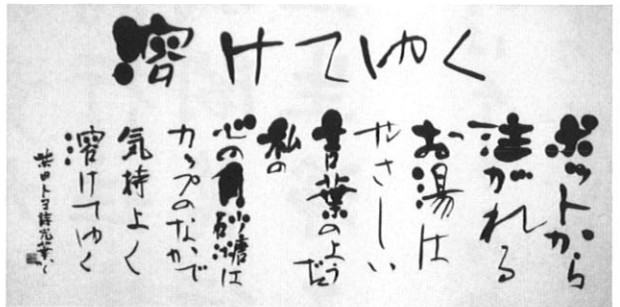
後上菁華



杉戸泰岳



佐藤光華



光谷素仙



印田素鶴



2011年 毎日書道展
新会員作家展

2月28日～4月9日
於 アートサロン毎日

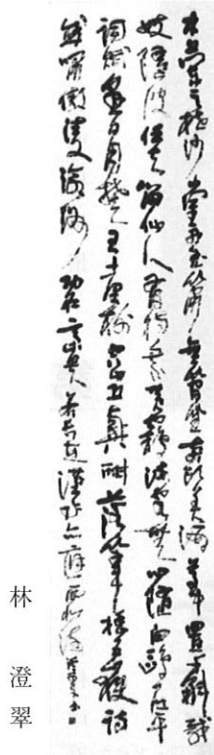
今年度毎日書道展で会員に昇格する作家の展覧会。貞香会では飯野彩心、奥山泰嶺、高橋珠翠の3氏が出品。



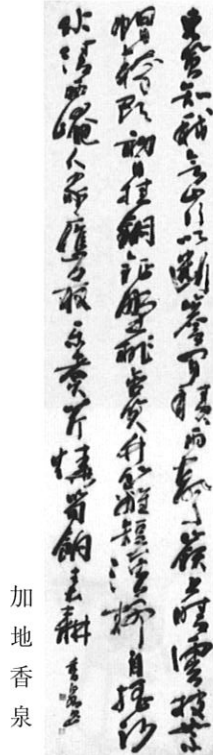
奥山泰嶺



笹山汀華



林澄翠



加地香泉

書壇受賞に輝く作家展

1月12日～16日
於 東京セントラル美術館

昨年各書道展で受賞された作家を集めての展覧会。45回貞香書展で特別賞に輝いた加地香泉、林澄翠、笹山汀華の3氏が出品。

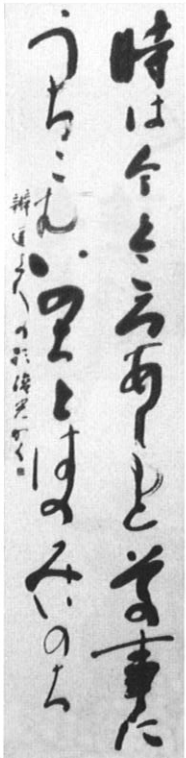
ともいき芸術浄土展

3月8日～13日
於 銀座画廊美術館

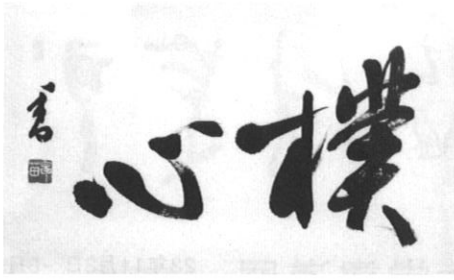
法然上人800年大遠忌記念の展覧会で、浄土門主・法主をはじめ、絵画・書・工芸などの作家が出品。貞香会からは左の三先生が出品された。



理事長 荒木大樹先生



同人 今井泰篁先生

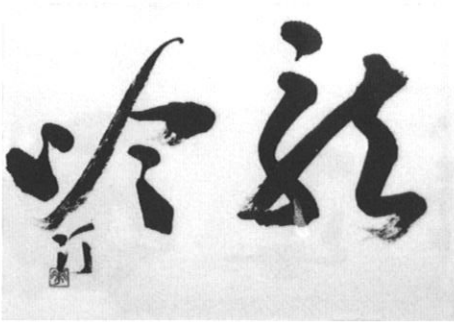


加地香泉

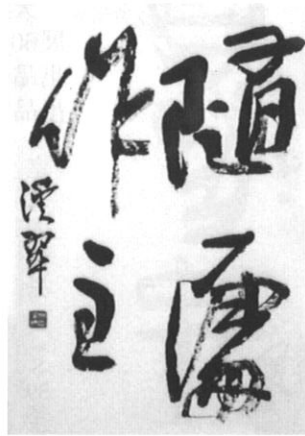
第27回 最高賞作家
三二作品展

3月15日~20日
於 銀座画廊美術館

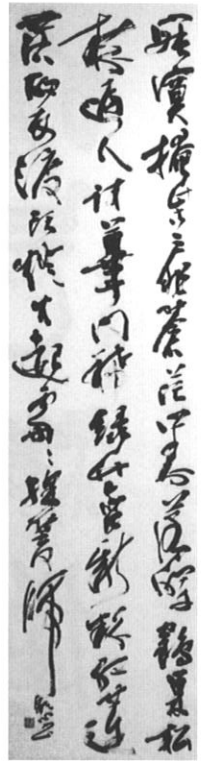
昨年各書道展で受賞した作家による小作品展。貞香会からは加地香泉、林澄翠、笹山汀華の3氏が出品。



笹山汀華



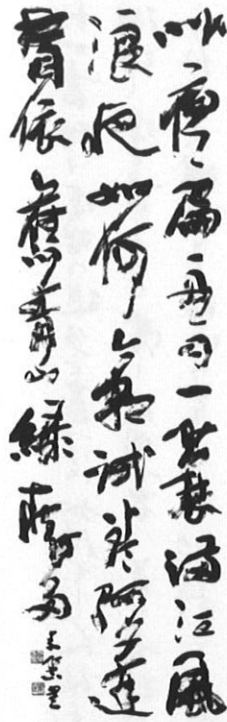
林澄翠



飯野彩心



加茂泰玄先生



中村素岳先生

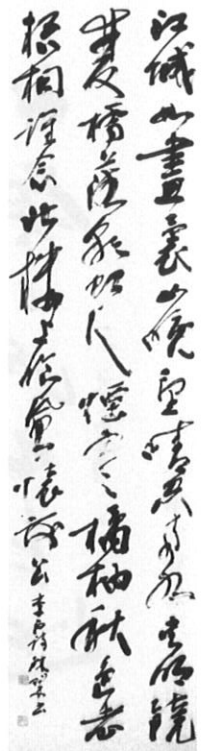


赤平泰処先生

第39回 日本の書展

6月9日~19日
於 国立新美術館

貞香会からは「招待」に赤平泰処、中村素岳両先生、「秀拔選」に加茂泰玄先生が出品された



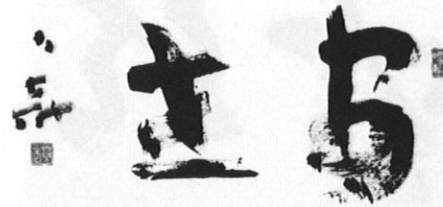
高橋珠翠



遺墨 中村素堂先生

大正大学書道展 23年11月3日～8日
於 カトレヤサロン

大正大学では書道研究部創部80周年、全国書道展60回を記念して、部員・OBによる展覧会を開いた。出品は中村素堂先生の遺墨をはじめ仏教界の賛助出品等を含め110点で、盛会のうちに幕を閉じた。



室生大韻先生 (S 39卒)



八木舜堂先生 (S 38卒)



晝間欽堂先生 (S 37卒)



松本宜響先生 (S 44卒)



荒木大樹先生 (S 44卒)



赤平泰処先生 (S 43卒)



鈴木大嘉先生 (S 42卒)

貞香会だより

十二月十二日(月)、貞香会事務所において理事会が開催され左記の通り審議されました。

(一) 第四十七回 貞香書展

- ◇ 会 期…平成二十四年六月二十七日(水)～七月九日(月)
- ◇ 会 場…六本木・国立新美術館三階3A
- ◇ 作品規格寸法 役員、公募とも前回展と同じ
- ◇ 役員の規格サイズ… 準同人以上は三十六平方尺以内、
鑑別会員は二十四平方尺以内。
- ◇ 公募の規格サイズ… 第一部は十二平方尺以内、
第二部は九平方尺以内。
- ◇ 出品料… 役員、公募とも前回展と同じ。
- ◇ 書類搬入… 六月四日(月) 午前十時～貞香会事務所にて受付。
- ◇ 講演会… 六月三十日(土)午前十時半～十二時(館内「講堂」)
- ◇ 授賞式と懇親会…六月三十日(土)
時間と会場は追って通知いたします。

(二) 第五十五回 東方書展

- ◇ 会 期…平成二十四年四月一日(日)～六日(金)
- ◇ 会 場…リニョールオープン東京都美術館(上野公園内)
- ◇ 主 催…東方書道院
- ◇ 書類搬入…三月十六日(金) 午前十時～(東京文化会館を予定)
- ◇ 当会審査員…〈第一部〉中村素岳、高橋珠翠、
(敬称略) 岡部賀苑、鈴木蓮径
- ◇ 受賞式…四月五日(木) 午後二時～(都美術館「講堂」)
- ◇ 懇親会…四月五日(木) 午後四時半～(都美術館「食堂」の予定)

(三) 第六十四回 毎日書道展《東京展》

- ◇ 会期…平成二十四年七月十一日(水)～八月五日(日)
- ◇ 主催…毎日新聞社・(財)毎日書道会
- ◇ 東京展「国立新美術館」
 - 前期展Ⅰ期 七月十一日(水)～七月十六日(月)
 - 前期展Ⅱ期 七月十八日(水)～七月二十三日(月)
 - 後期展Ⅰ期 七月二十五日(水)～七月三十日(月)
 - 後期展Ⅱ期 八月一日(水)～八月五日(月)
 - 前期展Ⅱかな、近代詩文書、前衛書部門
 - 後期展Ⅱ漢字、大字書、篆刻、刻字部門
- ◇ 管轄区域 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、
新潟、長野、山梨、静岡、沖縄の各都県と海外
- ◇ 表彰式…七月二十二日(日)十三時～ ザ・プリンスタワー東京
- ◇ 出品してみたいとお考えの方は貞香会事務所までお問い合わせ下さい。

(四) '13貞香会総合書展

- 第一部 貞香会会員展・第二部 書範展(公募)
- ◇ 会期…平成二十五年一月十八日(金)～二十四日(木)
- ◇ 会場…東京都美術館・ロビー階1棟(上野公園内)
- 新たな企画を理事会で検討していますので、要望その他ご意見がありましたら貞香会事務所までお問い合わせ下さい。

(五) 東方展・貞香書展・毎日展錬成会のお知らせ

- 二月二十一日(火)・二十二日(水)の二日間、
南浦和・鶯毛堂錬成会場で開催します。
- ◇ 受付九時半～ ◇ 開始十時～
- ◇ 講師 中村素岳先生、赤平泰処先生、荒木大樹先生
- この錬成会は作品制作の土台となる大切な学習の場です。
- 講師の先生が皆様の技量に応じてきめ細かな指導をして下さいます。
- 今回は特に会費も安くおさえておりますので、多数の方の参加を
お願い致します。詳細は貞香会事務所までお問い合わせ下さい。

平成二十三年度 **会報** (第一号)

発行日 平成二十四年五月十四日(月)

編集・発行 貞香会

印刷・製本 富寿印刷

東京都文京区大塚三三六―九
〇三(三九四四)一一四一